

地域生活支援センター風（令和2年度集計）

相談支援事業

	来所相談						サロン相談						同行						電話相談						訪問						全相談延べ件数						
	草	栗	守	野	圏外	計	草	栗	守	野	圏外	計	草	栗	守	野	圏外	計	草	栗	守	野	圏外	計	草	栗	守	野	圏外	計	草	栗	守	野	圏外	計	
1	体調面 医療関係	3	4	3	22	1	33	12	8	12	17	4	53	9	22	24	48	3	106	118	71	76	110	10	385	32	20	38	35	3	128	174	125	153	232	21	705
2	家庭・ 家族関係	5	1	3	4	1	14	14	1	3	6	7	31	0	2	2	1	0	5	69	10	22	30	4	135	14	7	13	6	0	40	102	21	43	47	12	225
3	金銭関係	3	2	2	1	0	8	0	1	4	0	0	5	0	3	1	7	0	11	20	13	38	10	2	83	16	13	15	3	0	47	39	32	60	21	2	154
4	制度・ 手続き	5	0	3	9	0	17	2	0	2	0	0	4	22	9	10	20	0	61	45	17	42	23	1	128	43	33	34	38	10	158	117	59	91	90	11	368
5	人間関係	2	0	5	8	2	17	3	1	5	7	4	20	0	0	0	1	0	1	12	6	21	11	5	55	6	1	4	0	2	13	23	8	35	27	13	106
6	日常生活・ 余暇	9	2	3	10	2	26	9	5	14	18	7	53	1	25	20	30	3	79	164	30	151	132	46	523	82	53	77	60	5	277	265	115	265	250	63	958
7	作業所利用	0	0	0	14	0	14	0	1	1	9	0	11	13	4	1	3	0	21	35	24	33	41	2	135	25	5	17	16	1	64	73	34	52	83	3	245
8	風利用関係	2	0	3	2	5	12	14	2	8	8	7	39	0	0	0	0	0	0	26	13	36	31	11	117	0	2	3	0	0	5	42	17	50	41	23	173
9	関係機関・ 社会資源	0	0	0	3	2	5	2	2	1	6	1	12	2	1	5	5	0	13	38	11	34	43	2	128	15	14	8	7	3	47	57	28	48	64	8	205
10	社会参加・ ボランティア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	4	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	4
11	就労	5	2	4	2	1	14	11	2	0	1	16	30	2	0	0	0	0	2	39	12	11	9	6	77	14	2	10	0	0	26	71	18	25	12	23	149
12	心理的不安	2	1	0	9	2	14	3	1	4	1	2	11	0	0	0	0	0	0	204	44	78	121	12	459	26	14	11	15	4	70	235	60	93	146	20	554
13	状況確認	2	1	2	26	0	31	2	1	0	2	0	5	0	0	0	1	0	1	119	52	62	80	12	325	154	86	144	155	35	574	277	140	208	264	47	936
14	その他	1	0	1	1	1	4	2	0	0	1	0	3	2	3	0	3	0	8	93	22	75	68	31	289	18	10	24	9	2	63	116	35	100	82	34	367
	計	39	13	29	111	17	209	74	25	54	76	48	277	51	69	63	119	6	308	984	325	679	711	144	2843	445	260	398	344	65	1512	1593	692	1223	1361	280	5149
		19%	6%	14%	53%	8%		27%	9%	19%	27%	17%		17%	22%	20%	39%	2%		35%	11%	24%	25%	5%		29%	17%	26%	23%	4%		31%	13%	24%	26%	5%	

《相談支援活動のまとめ》

①相談支援内容について

・コロナウイルスの影響が大きかった1年であり、サロンの閉所や時間短縮をしている期間も長くあった。そのために来所相談、サロン相談は前年度と比べると大きく減少した。しかし、その反動として電話相談は増加しており、自宅でご過ごす時間が多かった利用者からの電話が増加したと思われる。また、一方で訪問の実人数は前年度と大きく変化はないが、回数が減少しているのも、コロナウイルスの影響で訪問を控えた時期があったためと考えられる。訪問できない代わりに、電話で体調などの確認を行った。相談の方法としては前年度と比べて来所が減り、電話が多くなったが、全相談の延べ件数はやや増加しており、コロナウイルスの感染拡大の状況下でも相談方法を個々に検討しながら対応できていた。相談の中でもコロナウイルス関連の相談は月5件程度であった。具体的には「熱があるけど、どうしたらいいか」「作業所での過ごし方がコロナウイルス対策で変わって、しんどい」など電話での相談が多かったが、中には訪問時に熱があることが確認されたり、同居家族がPCR検査を受けたことがわかったケースもあった。

・相談の実人数は303人。その内、担当を付けて個別支援をしているのは242人。計画相談はその内の185人である。個別ケースの中には、ご本人だけでなく、家族全体に支援が必要なケースも増加しており、教育機関や介護保険事業所、子育て支援センターなど、ご家族の支援機関と連携することも多くなってきた。『親じき後』を心配される方も多く、日常の支援の相談に加え、相続の相談もあり、実際に成年後見人制度を申請し、相続の手続きをされた方もおられた。

・医療観察法のケースは現在1名が通院処遇中で、ケース会議に参加していたり、計画相談で関わっている。処遇が終了したケースも複数名おられ、いずれも支援を継続している。

・アウトリーチ事業はH29年度末で終了しているが活動は継続している。対象ケースは平均6～7名。病状が重く入院を繰り返す、治療が途切れがち、地域トラブルの経過有、ひきこもり、既存サービスに繋がらない等一般的な支援では地域生活が困難なケースに対し、多職種で根気強くアウトリーチ支援を継続している。

・今年後は1人休職中のスタッフがおり、各ケースを他スタッフが分担してカバーしてきたので、各スタッフの負担が増え、新規をほとんど受けることが出来なかった。分担してカバーしたケースについては、大きな問題なく、支援することが出来た。

②家族への相談対応（件数と主な内容）

草津市	栗東市	守山市	野洲市	圏域外	計
63	28	28	62	2	183

- ・制度手続き
- ・本人抜きで相談がしたい。
- ・最近の様子はどうか(遠方、別居家族)
- ・本人との関わり方
- ・地域トラブルへの対応
- ・家族自身のストレス傾聴
- ・緊急対応

③個別支援会議参加状況

草津市	栗東市	守山市	野洲市	圏域外	計
85	55	96	75	20	331

コロナウイルスの感染予防の状況から、個別支援会議も延期や中止が多くなり、現在は感染状況の様子を見ながら、必要時には行うようにしている。

④相談支援対象者について

相談者実人数（担当ではない単発的な相談を含む）

草津市	栗東市	守山市	野洲市	圏域外	計
73	50	77	72	31	303

（相談形態ごとの実人数）

	来所	サロン	同行	電話	訪問
草津市	13	13	20	54	51
栗東市	5	6	18	37	36
守山市	12	13	24	54	55
野洲市	23	14	23	50	52
圏域外	11	14	3	21	11
計	64	60	88	216	205

訪問や同行で支援しているケースが多い。

個別支援実施者（担当を付けて継続的に支援している方）

草津市	栗東市	守山市	野洲市	圏域外	計
62	45	61	58	16	242

（※各相談員の担当ケース数 黒木：65 田中：67 節木：64 北村：45）

計画相談対象者（R3/3末現在）

草津市	栗東市	守山市	野洲市	圏域外	計
47	36	46	44	12	185

今年度は新規ケースは9名。元々、一般相談で関わっていたケースや、複雑な課題のある困難ケースを受けることが多かった。終了ケースは8名。作業所やグループホームを退所して終了になった方が多かったが、一般相談として関わりを続けている。また、一度終了になったが、再度計画相談に入るようになったケースが2名おられた。